

井土ヶ谷駅前水道管漏水事故について

1 事故の概要

- (1) 発生日時 平成 26 年 9 月 10 日（水）午前 1 時 30 分頃
- (2) 発生場所 南区南太田四丁目 1 番（京浜急行 井土ヶ谷駅付近）環状 1 号歩道部
- (3) 漏水した水道管 配水幹線（瀬戸ヶ谷線直径 60 センチメートル）からの配水管取出し分岐部分（S52 年布設）
- (4) 被害状況（9 月 11 日現在）
 - ア 床下浸水約 13 戸（現在も調査中）
 - イ 断水なし（水压低下の間合せ 3 戸）
 - ウ 歩道の陥没（3 メートル×5 メートル程度、深さ 2.5 メートル）
 - エ ゆうちょ銀行 ATM の浸水及び ATM 建屋の破損
 - オ 道路の交通規制による渋滞等

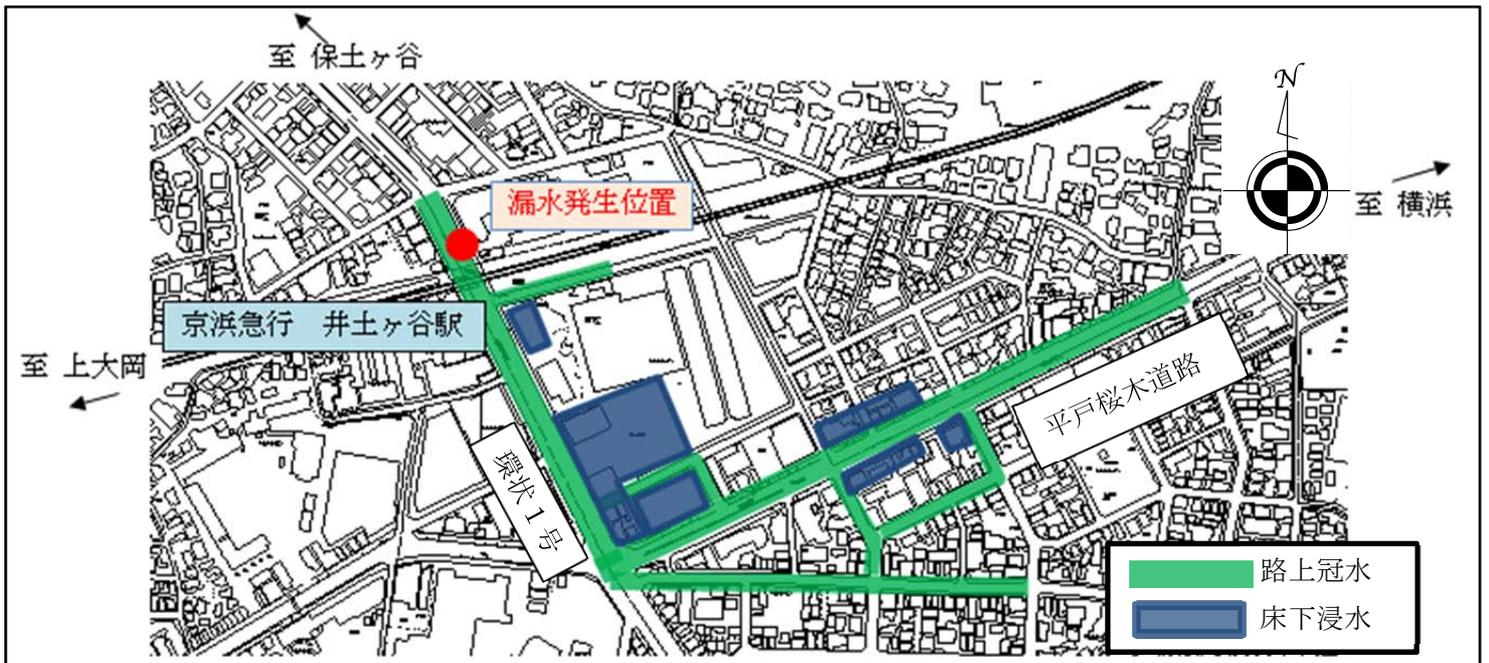


図-1 事故発生場所及び被害状況図

写真 1



陥没した歩道及び埋設物露出状況

写真 2



陥没で傾いたゆうちょ銀行 ATM

2 事故原因

水道管（瀬戸ヶ谷線）から分岐した配水管直径 40 センチメートルの継手部分の離脱により漏水しました。

この原因は、他企業管が輻輳する狭い範囲の中で大口径管から分岐したため、非常に複雑な配管にせざるを得ず、継手の接合に無理が生じ、そのため継手の強度が不足し水圧により徐々に抜け出し、事故に至ったものと判断できます。

写真3

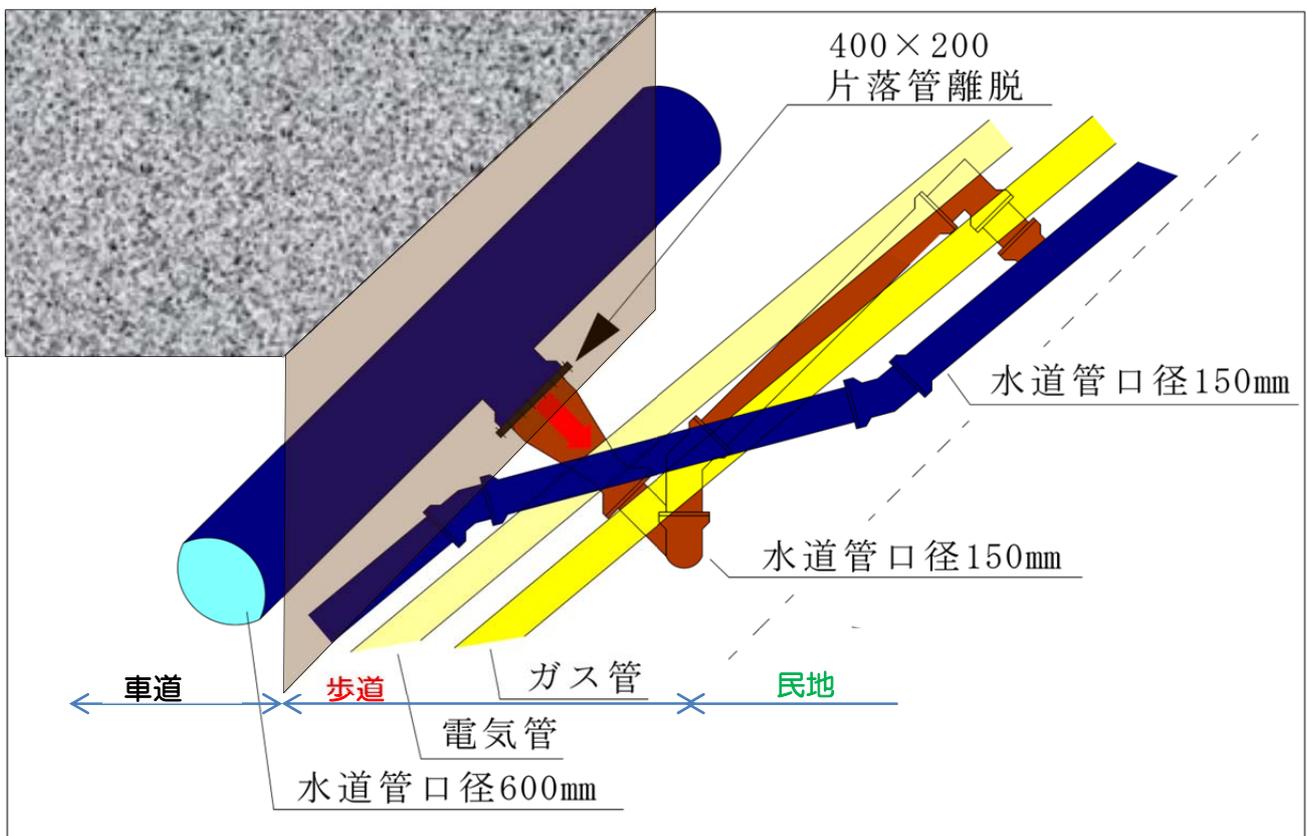


本管から分岐した直径40センチの受口の離脱部分

写真4



離脱した直径40センチ×20センチの管



図一2 井土ヶ谷駅前水道管漏水事故現場配管状況

3 現場での対応

事故発生当日の状況と対応

時刻	状況及び対応
1 : 3 9	南警察署からお客さまサービスセンターへ通報有
1 : 4 5	中部第一給水維持課職員出動
}	復旧に向けての検討（切替作業のシミュレーション等）
2 : 4 0	切替作業開始（バルブ7箇所を操作し、切替・止水）
3 : 4 5	切替作業完了
5 : 1 0	陥没箇所の排水作業開始
5 : 4 0	水道管復旧作業開始 道路片側交互通行開始
6 : 4 0	道路清掃活動開始 （応援職員含め129名、及び道路洗淨のための給水車14台で対応）
}	現場にて、水道管復旧作業及び道路清掃の継続
11 : 0 0	水道管復旧作業に伴う断水開始
}	現場にて、水道管復旧作業及び道路清掃の継続
17 : 0 0	水道管復旧作業終了
17 : 3 0	道路清掃終了
23 : 0 5	路面仮復旧作業終了 道路片側交互通行解除（全面開通）

漏水が発生しました管路に対する措置については、抜け出した分岐部からの水の供給が断たれても、別のルートから水を送り込んで給水することが可能でした。そこで、継手部分が抜け出した直径40センチメートル部分は、管の口の部分に専用の蓋を設置することで、止水しました。

写真5



写真6



道路洗淨作業

4 今後の対応

再発防止策は、定期的なパトロールや幹線管路からの分岐部の漏水調査を強化するなど、漏水箇所の早期発見に努め、大規模な事故の防止を図っていきます。また、床下浸水等で損害を与えたお客さまに対し、誠心誠意対応してまいります。